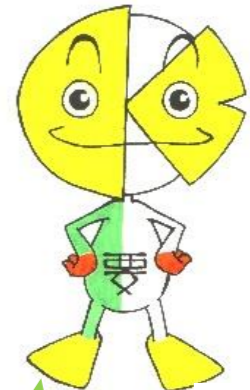
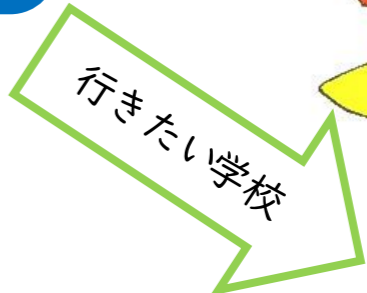


豊島区教育ビジョン 2025
 目指す子どもたちの将来の姿
 未来を切り拓く笑顔で元気な ” としまっ子 ”

教育目標
 かしこく つよく あたたく
 未来を拓け 要の子

学校経営の基本理念
 子供たち一人一人に寄り添い、子供たちが夢と希望と自信をもって生きていく力を育てることができる学校づくりを行う。
 そのためには、教職員は子供の未来を創っているという意識を常にもち、信頼される人間性・指導力を磨くことに努力を怠ってはならない。子供を中心に置き、教職員だけでなく、保護者・地域も巻き込んだ幅広い学校経営を行う。

目指す学校像
行きたい学校 行かせたい学校



要小学校
 イメージキャラクター
 かなめくん

子どもたちが夢と希望と自信をもてる学校	保護者・地域に、信頼される学校	教職員が、誇りをもって所属できる学校
「学びに向かう力」 「健康でたくましく生きていく力」 「豊かな人間関係を築く力」を育む 学校を目指します。	学校・保護者・地域が同じ方向を向き、 力を合わせて子供たちを育てていこうと思える 学校を目指します。	人を育てることの重責とやりがいを、 教職員の成長につなげることのできる 学校を目指します。

【ニコニコ ピンピン ミンナデ ナカヨク ナニカデ ヒトヨリ】 要小学校児童の信条(校訓)

子供たちが夢と希望と自信をもてる学校を目指して

かしこく つよく あたたく

【学びに向かう力】

- 学習規律の確立「要スタンダード」
 - ・授業の始めと終わりの挨拶・話の聞き方・体育の服装廊下の歩き方・文房具のきまりなど、全校でそろえます。
- 「要のまなび」「めあて」と「振り返り」のある授業
 - ・「めあて」を明確にし、授業の最後にその「めあて」に沿った振り返りを行うことで、子供たちに何が身に付いたのかを自覚させ、成長を実感できるようにします。
- 「かなめの学び合い」聴く・考える・つなげる
 - ・「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を通して、子供たちは多様な考えにふれ、自分の考えを広げ深め、めあて・課題に迫るようにします。
- 「要タイム」朝学習「放課後寺子屋」
 - ・四則計算、漢字の読みなど基礎基本の定着を図ります。
- 習熟度別授業(算数)の実施定着を図ります。
- 自学自習の推進
 - ・子供たちに「何を」「どのように」学ぶのかを決定するプロセスを身に付けさせ「自立した学習者」の素地を養います。
- 学校図書館・司書の活用と読書活動の充実
- ICT機器の活用

【健康でたくましく生きていく力】

- 「早寝」「早起き」「朝ご飯」規則正しい生活習慣の定着
- 体育的活動の充実
 - ・中休み・昼休みにおける外遊びの奨励
 - ・ロング昼休み(木曜日 30分間)
 - ・縄跳び月間・体力向上月間・投力向上旬間
- 体育科指導の充実
 - ・体力調査の結果をもとにした授業改善を行います。
- 保健学習・保健指導の充実
 - ・「生活習慣病の予防」「がんに関する教育」「歯と口腔の健康」に関する学習をします。
 - ・飲酒・喫煙・薬物乱用の防止についての学習をします。
- 食育の推進
 - ・給食指導を通して栄養士・担任が連携し、食に関する指導を行います。
 - ・安全・安心な学校給食を提供します。

【豊かな人間関係を築く力】

- 自分とともに他人を大切にする態度の育成
 - ・令和6・7年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校、豊島区教育委員会研究開発指定校「自他を認める児童の育成～学び合い活動を通して～」としての取り組みを継続していきます。
 - ・教育活動全体を通して、人権尊重の理念を理解させ、実践する態度を育成します。
 - ・気持ちのよい挨拶・返事・言葉遣いを指導し、言語環境を整えます。
 - ・その子のよさや持ち味を伸ばす肯定的な評価に努め自己有用感の伸長を図ります。(よい言動・よい行動は「認める」「褒める。)
 - ・たてわり班活動による異学年交流の推進を行います。
 - ・「クラス作りのための総合質問紙調査 i-check」の結果を学級経営に生かし、一人一人に寄り添った指導を行います。
 - ・「ナニカデ ヒトヨリ」自分の得意なこと・頑張っていることに気づかせ、認める場をつくります。
- いじめのない学校づくり
 - ・「いじめはぜったいゆるさない」メッセージを繰り返し発信します。
 - ・「相談カード」や「いじめに関するアンケート」などから、いじめの予防・早期発見に努めます。
 - ・週1回生活指導の情報共有の時間を設け、チーム要で対応をします。
- 「いのちの安全教育」
 - ・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないようにするために、命と人権を守る力を育てる教育を計画的に行います。

保護者・地域に、信頼される学校を目指して

【保護者・地域とともにある学校づくり】

- PTA・学校運営連絡協議会との連携
 - ・教育活動の目標やビジョンを共有し、より質の高い教育活動を目指します。
- 保護者と連携した「情報モラル教育」の充実・「家庭学習のすすめ」の作成
- 千川中学校ブロックの小中連携
 - ・学びの連続性をもたせ、中学校へのスムーズな進学につなげます。
- 近隣の幼稚園・保育園との交流
 - ・育ちの連続性をもたせ、円滑な接続につなげます。
- 放課後子ども教室との連携
- 豊島ふるさと学習の実施
 - ・区内の施設見学や地域学習・体験学習を通して、地域に思う気持ちを育てます。
- 地域行事への参加
 - ・清掃活動や地域行事に参加し、地域社会の一員としての自覚連帯感を育みます。
- 学校だより・ホームページ・連絡アプリ「すぐる」を活用した情報発信
- 学校行事学校公開・保護者会・道徳地区公開講座など教育活動の公開

教職員が、誇りをもって所属できる学校を目指して

【教師力の向上】

- 人権意識・危機管理意識の向上
 - ・人権課題・服務事故についての研修を行います。
- 高い指導力の育成「教師は授業で勝負する」
 - ・児童理解力・学習指導力・集団指導力・学級経営力
 - ・各種研修・OJTを通して教師力を高めます。
- 教職員も「主体的」「創造的」
 - ・まず教職員が手本を見せます。率先垂範
- 【チーム要】
 - 全教職員の協働体制
 - ・報告・相談・連絡を徹底します。(生活指導夕会・学年会・週案簿活用)
 - ・情報を共有し、理解と協力のもと組織的に対応します。
 - 働きやすい職場環境の整備
 - ・風通しのいい職場で、互いに信頼して職務に励みます。
 - ・業務内容の見直し・ICTの活用などで、業務の効率化を図ります。

【一人一人を大切にする教育の推進】

- 特別支援教育の充実
 - ・特別支援コーディネーターを中心として校内支援体制の充実を図ります。
 - ・特別支援教育巡回相談(チームステップ)や医療・福祉の専門家などとの支援体制の充実を図ります。
- インクルーシブな教育を推進します。
 - ・障害理解教育(普通学級児童へ特別支援学級「すずかけ」の紹介)の授業を低学年で実施します。
 - ・特別支援学級「すずかけ」との交流及び共同学習を推進します。
- 不登校対策の充実
 - ・組織的対応で未然防止・早期発見対応・復帰支援・再発防止など不登校対応力の向上を図ります。
- 関係諸機関と連携強化
 - ・関係機関・SC・SSWとも連携を図り、適切な支援・就学につなげます。

要小学校は令和8年度から豊島区コミュニティ・スクール制度(CS)本校はコミュニティ・スクールとして新たな一歩を踏み出します。学校と保護者、地域の皆様が目標や課題を共有し、よりよい学校づくりをともに進めていく仕組みです。これまで以上に地域に開かれ、地域とともに歩む学校を目指し、皆様のご意見を伺いながら、一つ一つ丁寧に取り組んでまいります。

